

令和3年大垣市長選挙 候補者アンケート

笹田 トヨ子 氏 アンケートのご回答

1) NPO・地域住民組織への期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化し、課題解決のために様々なNPOや住民団体、市民活動団体等が活動しています。大垣市のより良いまちづくりのために、NPOや地域住民組織等に期待していることはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細

NPO・地域住民組織は、市内外で、社会や地域の諸課題を解決するために、自治体ではできない仕事を担っていると認識しています。そして、その活動を通じて、行政を監視したり、行政が把握できていない現場の情報に基づいて政策提言するなど、非常に大切な役割を果たしていると感じています。また、「人と人との新しいつながりをつくる」「市民の自立や自主性を高める」「やりがいや専門的な能力を発揮する機会を提供する」等の機能も重要だと考えています。各組織とは引き続き組織の自主性を尊重し、自主的な取り組みを支援しつつ、自治体と組織との間で、対等・平等な立場での多面的な協力関係を期待しています。

2) NPOや地域住民組織への活動支援施策について(300字以内)

「大垣市みらいビジョン第1期基本計画」では、分野別計画6(1)市民協働の施策として「市民協働の推進」の中で、市民意識の向上を図るとともに、市民活動団体等への支援や協働事業の推進を掲げておられます。今後、NPOなど市民活動団体の取り組みを推進するために大垣市が行う施策や仕組みが必要だと思いますか。不要な場合の理由や必要な場合の具体的な施策等についてお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

NPO や地域住民組織の多くが資金やスタッフの確保、組織運営、活動・交流場所などで苦労されていると認識しています。そこで、①人件費も含む事務局の経費への支援など、自由度・柔軟度の高い補助・助成を行います。②公的施設を整備する際には各組織が使い勝手のよいものとするとともに、備品もふくめて無料・低額で利用できるようにします。また、空き店舗の借り上げや空き家の活用など、活動場所の提供を進めます。③各組織の認知度をあげるために、広報などをつかっの紹介活動に取り組みます。④引き続き市民団体への各種アンケートや要望を聞く会などを行い、意見を行政に反映します。

3) SDGsの推進に向けたNPOや地域住民組織との連携について(300字以内)

2030年までに持続可能なよりよい世界を目指す国際目標として設定された「SDGs」の達成に向けて、大垣市でも「大垣市未来ビジョン第1期基本計画-実施計画2021」の中で、SDGsカードゲームの実施や高校生等を対象としたSDGsを学ぶ機会の創出、SDGs普及啓発セミナーなどが計画されています。

また、NPO等もSDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいます。今後もSDGsの達成に向けて、NPO、市民団体、企業など多様なセクター等と連携して取り組まれますか？

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、連携を強化します。新型コロナ危機で私たちの生活が一変しました。気候変動による災害の激甚化や格差と貧困の拡大等、先が見えない時代となっている中で、地方自治体は非常に重要な役割を果たすと考えています。「持続可能な開発目標」に取り組む上では、学び、自治、循環型社会を意識し、市民の知恵と自治力を活かしたまちづくりを目指します。

ご協力ありがとうございました。